

雅楽&武道 欧州公演実施報告書

平成29年3月22日
明治神宮

目次

謝辞

I. 事業概要 3

1. 目的
2. 事業内容
 - (1) プログラム構成
 - (2) 日程および会場
3. 総事業費
4. 協賛・後援等

II. 実施報告 5

1. 事前事後広報等について
2. 招待者について
3. 各会場における実施報告
 - (1) ベルギー・アントワープ
 - (2) ベルギー・ブリュッセル
 - (3) イタリア・ミラノ
 - (4) イタリア・ローマ
 - (5) ポーランド・クラコフ
 - (6) ポーランド・ワルシャワ
4. アンケート結果

III. 会計報告13

別添 チラシ
 プログラム
 事前事後広報例

ご協力頂いた皆様へ 感謝をこめて

日本の「文化」と「技術」、あるいは伝統と先端テクノロジーと言ってもよいでしょうか。その両方の魅力については、近年世界に知れ渡って来ているところです。一方で、これまで日本を訪れてきた外国人にとっては、それらは「別々の」ものとして認識されがちで、単に「日本には古いものが残っているからそれを楽しみたい」という側面が意識される傾向にあり、日本が生み出した洗練された技術との繋がりを見出さないまま、その表層を楽しんでいる、という状況があるのかもしれませんが。先進国としての環境の中に伝統が息づいていることに驚く外国人が多いのは、両者は相克する、という前提によるものでありましょう。しかしながら、日本の伝統も最新技術も実は同じルーツがある、ということに少しずつ海外の人も気づき始めているのではないかと思います。そして、日本人も、そのことを自覚するようになってきたように感じます。枯山水の庭園も、日本料理も、電車の複雑かつ正確な運行も、精巧な工芸品・工業製品も、コンビニも、街の清潔さも、すべてが繋がっている。この部分への関心の高まりが、海外旅行者の増加をもたらしているのかもしれませんが。そして、その根底には神道の精神があると思っています。

この、日本の文化・心のあり方の一形態を伝えるという観点から、明治神宮が有する「雅楽」と「武道」の海外公演を企画致しましたところ、皆様から多大なご協力を賜り、感謝に堪えません。雅楽器や装束の輸送に多額の経費がかかることから、やる限りはできるだけ多くの方々、国民にと、2週間でベルギー・イタリア・ポーランドの3か国、6都市での実施となりました。無料公演であったことや、招待客の当日のご都合などにより、空席が生じるケースもありましたが、キャンセル待ちの方がいらっしゃるなど、いずれの会場もほぼ満席(あるいは立ち見)となり、関心の高さを肌で感じることができました。雅楽が「静」とすると、武道は「動」。2つの異なるものをご覧になった観衆は、終始ピンと張りつめた空気の中に一貫した精神性を感じ取ってくれたのではないかと思います。

今回の成功の要因は、偏に皆様にご協賛頂いたことによりますが、各国で「日本」を代表していらっしゃる現地の日本商工会議所や日本人会のご支援を頂戴したこと、ひいて言えば、先人たちが連綿と遺してくださった「日本を思う気持ち」の賜物であります。一方、当研究所が培ってきた、日本大使館や海外の大学など地元関係者等との海外ネットワーク構築も徐々にではありますが実を結んできたのではないかと喜んでおります。

駐在の方から頂戴した、「明治神宮の方々のご努力、ご尽力に対して、海外在住の日本人の一人として、大変感謝いたしております。」というお言葉に、大変勇気づけられるとともに、この事業を実施することができたことに改めて感謝の気持ちが湧いてきた次第です。

平成32年(2020)は、東京オリンピック・パラリンピックの開催で改めて日本が脚光を浴びることになります。明治神宮も同年に鎮座100年を迎える巡り合わせであり、微力ながら引き続き日本理解—伝統も現代も一貫した日本人の心の顕れであるということ—の促進のために努めていきたいと存じます。この度のご協力に改めて心より御礼申し上げますとともに、引き続きのご高配を宜しくお願い申し上げます。

I. 事業概要

平成28年4月12日に出発予定であった本件事業は3月22日にベルギーのブリュッセルで発生した空港爆破テロ事件を受け、やむを得ず延期となりました。日程を再調整し、この度平成29年1月26日から15日間の公演を実現することができました。

1. 目的

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催への機運や各国との友好関係記念年など、日本への関心が高まり、海外からの観光客が増大する中、日本人に息づく文化に触れてもらう機会を提供することで日本や日本人理解を深める絶好の機会と考えます。

本件事業は、(延期により当該年の実施とならなかったものの、引き続き)イタリア・ベルギーにおける150年記念事業の一つとして認定され、両国関連事業に寄与することとなります。また、親日国のひとつであり、近年明治神宮との関係が深まっているポーランドで実施することにも、大きな効果が期待されます。

事務局が開催予定国を訪問し、日本大使、現地商工会、会場関係者とも面会を行ったところ、様々な協力が得られることとなり、政財界の有力者・知識人・文化人、そして日系企業関係者の招待はもとより、大使館他から期待できる広報・告知によって、現地の聴衆に影響を与えることができるものと考えています。

日本の文化が注目を浴びて来ている昨今、外国ではほとんど未知の雅楽・武道を紹介することで、日本人の心を理解してもらうきっかけになれば、それは外交や経済活動などにも好影響をもたらすと確信しています。

2. 事業内容

(1) プログラム構成

(イ) 司会進行

現地の日本研究者や前大使に依頼し、各国の言語で司会進行をして頂くことで、より親近感のある、また、より深い理解を誘うものとなりました。

(ロ) 主催者挨拶

ベルギー、ポーランドでは英語で、イタリアではイタリア語で本事業の意義などについて佐藤所長よりスピーチを行ないました。

(ハ) DVD 上映

明治神宮を舞台としつつ神道や日本文化を紹介する DVD (30分) を上映しました。

(ニ) 雅楽

雅楽の歴史・楽器の特性について司会者より解説を行ないました。

その後、管絃「平調・越殿楽」、神楽「代々木の舞」、舞楽「蘭陵王」を演奏しました。

(ホ) 武道

武道の精神性と明治神宮至誠館について司会者より解説を行ないました。

その後、荒谷至誠館館長ほか、ISBA (International Shiseikan Budo Association) のメンバーによる、合気道、剣術の演武を行ないました。

(2) 日程および会場

1月28日(土)	ベルギー・アントワープ	Theater Tinnenpot
1月29日(日)	ベルギー・ブリュッセル	Bozar
1月31日(火)	イタリア・ミラノ	Triennale Teatro dell' Arte
2月2日(木)	イタリア・ローマ	ローマ日本文化会館
2月5日(日)	ポーランド・クラコフ	日本美術技術博物館(マンガ)
2月7日(火)	ポーランド・ワルシャワ	王立ワジェンキ公園 Old Orangery

3. 総事業費 [詳細は、Ⅲ. 会計報告 参照]

22, 953, 217円

4. 協賛・後援等

- (1) 助成 国際交流基金
東芝国際交流財団
日本財団
東京倶楽部
- (2) 協賛 みずほ銀行
三菱東京 UFJ 銀行
愛知産業株式会社
キッコーマン
トヨタ自動車
いであ
コトブキシーティング
豊田自動織機
日本ベルギー協会
日本通運
- (3) 後援 在ベルギー日本大使館(日本・ベルギー友好150周年記念事業)
在イタリア日本大使館(日本イタリア国交150周年記念事業)
在ポーランド日本大使館
イタリア日本商工会議所
在ポーランド日本商工会
ポーランド日本人会
- (4) 協力 ゲント市
ゲント大学
Change Performing Arts (CPA)
CRT Milano
La Triennale di Milano
Istituto Giapponese di Cultura
Manggha Museum of Japanese Arts and Technology
The Royal Łazienki Museum

II. 実施報告

1. 事前事後広報等について

(1) チラシ・ポスター [別紙]

3ヵ国ごとに現地の言葉でチラシ・ポスターを作成しました。

基本となる情報の、英語訳・イタリア語訳・ポーランド語訳を業者に依頼。

フラマン語については、ゲント大学のニーハウス教授・マーリス女史に翻訳依頼。

イタリア語は、在イタリア日本大使館、ローマ日本文化会館、CPAの荒川女史の校正を、
ポーランド語については、在ポーランド日本大使館、ロドヴィッチ元駐日大使、ワジェンキ
公園・マンガ日本美術技術博物館の各担当に校正を依頼。

日本で校了したチラシ・ポスターのデータを、

ベルギー： ゲント大学

イタリア： CPA

ポーランド： 日本美術技術博物館(マンガ)

にそれぞれ送付して印刷を依頼しました。

また、各所より、日本大使館・各公演会場・日本人会等に発送も依頼。(当方が必要枚数
をとりまとめて依頼)

ベルギーのゲント大学においては、本件作業に係る経費を大学側が負担してくれました。

(2) プログラム [別紙]

3ヵ国共通(英語)のものを作成。会場で配布しました。

(3) その他

以下の媒体や組織により、事前事後広報がなされました。[別紙]

在ベルギー日本大使館 (150周年事業として HP にて告知)

在イタリア日本大使館 (150周年事業として HP にて告知)

在ポーランド日本大使館

ゲント市 広報誌及び定例記者発表、HP

BJA (Belgium-Japan Association, Chamber of Commerce) 日伯協会兼商工会議所

ベルギー日本人会 理事会

ゲント大学

ローマ日本文化会館

在イタリア日本商工会議所

北イタリア日本人会 会誌

ポーランド日本人会 理事会

ワルシャワ大学

カルメン・コヴィート女史(ミラノでの司会者)

各会場

(動画: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/pl/aktualnosci/japonska-muzyka-i-sztuki-walki-teatrze-krolewskim>)

明治神宮 HP(日本語版／英語版)

2. 招待者について

(1) 協賛企業各社

各協賛企業には、現地の方々にご鑑賞いただくため、僅かではございましたが、招待状を配布させて頂きました。当日は、支店にご勤務されている方やその招待者には、ご挨拶させて頂く機会もありました。

(2) 後援者等

現地の日本商工会議所や日本人会など、限定的ではありましたが招待状をお渡しして活用頂きました。

(3) 主要な招待者

上記招待状を持ってお越し頂いた方の中で、また、当方で招待・把握した主要な招待者は以下のとおりです。

(イ) ベルギー

H.E. Mr. Siegfried Bracke 下院議長（同議長は2月末に訪日。明治神宮へも来宮）

H.E. Mr. Jean-Francois Branders 元駐日ベルギー大使閣下夫妻

H.E. Mr. Luc Liebaut 前駐日ベルギー大使閣下夫妻（現駐ギリシャ・ベルギー大使）

H.E. Mr. Urs Bucher 元駐日スイス大使閣下夫妻（現欧州連合スイス代表部大使）

石井正文 在ベルギー日本大使閣下夫妻

兒玉和夫 欧州連合日本政府代表部大使閣下夫妻

ウイリー・ヴァンデワレ カトリック・ルーヴァン大学教授夫妻（Friends of Japan 会長）

アンドレア・ニーハウス ゲント大学教授夫妻

(ロ) イタリア

山内弘志 在イタリア大使館公使

中津川伸一 在ミラノ日本総領事

(ハ) ポーランド

H.E. Mr. Cylyl Kozaczewski 前駐日ポーランド大使閣下

H.E. Ms. Jadowaga Rodowicz 元駐日ポーランド大使閣下夫妻

高橋了 在ポーランド日本国臨時代理大使

エヴァ・パワシュ・ルトコフスカ ワルシャワ大学教授夫妻

3. 各会場における実施報告

(1) ベルギー・アントワープ

- (イ) 会場 Theater Tinnenpot
[Tinnenpotstraat 21; 旧市街から徒歩 5 分]
- (ロ) 収容人数 170席 (満席)
[会場の HP で申し込むシステム。数日で満席]
- (ハ) 司会者 アンドレア・ニーハウス ゲント大学教授
- (ニ) 経費関係 会場: €350
[無料公演ということで€400から€50減額提示あり]
チラシ・ポスター印刷費: ゲント大学が負担
ゲント大学学生がボランティアで手伝い



(2) ベルギー・ブリュッセル

- (イ) 会場 Bozar, Center for Fine Arts
[Rue Ravensteinstraat 23; Grand Place から徒歩 15 分]
- (ロ) 収容人数 476席 (約350名)
[会場の HP で申し込むシステム。公演日前に満席]
- (ハ) 司会者 アンドレア・ニーハウス ゲント大学教授
- (ニ) 経費関係 会場: €3800 [チケット発行にかかる費用含む]
- (ホ) その他 特別ゲスト(関係者)を招いてのレセプションを公演後に開催しました。
元・前駐日大使やベルギー商工会議所関係者、日本商工会議所・日本人会・文化人など、60名余りが懇親を深めました。



(3) イタリア・ミラノ

(イ)会場 Triennale Teatro dell'Arte

[Tinnenpotstraat 21; 旧市街から徒歩 5 分]

(ロ)収容人数 500席 (満席)

[会場に申し込むシステム。数時間で満席]

(ハ)司会者 カルメン・コヴィート女史(作家)

(ニ)経費関係 会場: €12, 200

[DVD イタリア語キャプション作成、チケット発行にかかる費用等含む]



(4) イタリア・ローマ

(イ)会場 ローマ日本文化会館

[Via Antonio Gramsci; ボルゲーゼ公園隣接]

(ロ)収容人数 150席 (立見あり) [当日来場者を受付]

(ハ)司会者 マティルデ・マストランジェロ ローマ大学教授

(ニ)経費関係 会場: 無料 [公演料として€1000の助成あり]



(5) ポーランド・クラコフ

- (イ)会場 日本美術技術博物館(マンガ) [ul. Monopnickiej 26; 平成14年に両陛下下行幸啓]
(ロ)収容人数 250席(立見あり) [チケット配布日を指定。数日で満席。]
(ハ)司会者 ヤドヴィガ・ロドヴィッチ 元駐日ポーランド大使
(ニ)経費関係 会場: 30万円



(6) ポーランド・ワルシャワ

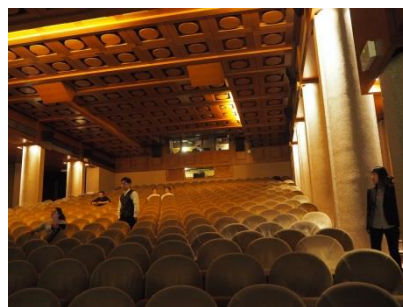
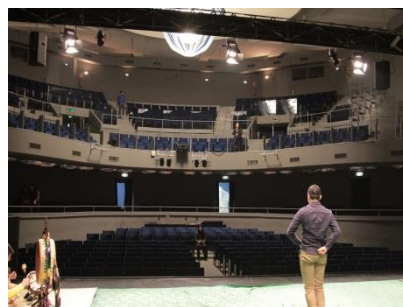
- (イ)会場 王立ワジェンキ公園 [Old Orangery [ul. Agrykoi 1]
(ロ)収容人数 200席(約170名) [チケット配布日を指定。数日で満席]
(ハ)司会者 ヤドヴィガ・ロドヴィッチ 元駐日ポーランド大使(能作家)
(ニ)経費関係 会場: 無料 [公演後のレセプション会場費も無料]
(ホ)その他 ワジェンキ公園が、明治神宮の写真パネル 16 枚を2週間にわたり公演の入口に展示する企画を実施。
公演後にレセプションを開催し、前駐日ポーランド大使をはじめ、日本商工会関係者、日本人会会長、大学関係者など、ポーランド人・日本人約70名で懇親を深めました。





以上ワルシャワ

以下その他の写真



4. アンケート結果

英語が公用語に近いベルギーのブリュッセルにおいて、アンケートを実施しました。

また、ローマ日本文化会館が独自にアンケートをとっていたので、その結果も頂戴しました。

■ブリュッセル

総回答数:216 【英語回答:173、日本語回答 43】

	あまり		普通		非常に	未回答	
1. これまで雅楽に関心がありましたか？	47	41	56	45	26	1	
2. これまで武道に関心がありましたか？	29	22	43	64	57	1	
3. 雅楽に関心を持ちましたか？	4	16	66	71	55	4	
4. 武道に関心を持ちましたか？	2	14	34	78	84	4	
5. このような行事は外国人に関心があると思いますか？ (日本語回答者のみ)	0	0	3	13	24	3	
Do you have interest in Japanese culture? (英語回答者のみ)	4	4	19	43	101	2	
			越殿楽	代々木舞	蘭陵王	武道	祓の太刀
6. 一番関心を持った演目はどれですか？	26	31	40	67	27	25	
7. 本日の公演は良かったですか？	4	—	30	—	169	13	
8. 日本の文化として外国にアピールできるものは何だと思いますか？ 華道・茶道・武道・書道・伝統工芸・能・寺社建築・自然・食・アニメ・マンガ 日本の心(謙虚さ・清らかさ、あらゆるものにクオリティーを求める姿勢、多神教的考え方) Budo, Taiko, Sumie, Tea ceremony, Ikebana, Kabuki, Noh, Music, Bonsai, Kimono, Nature Anime, Bento, Garden, Fashion, Craftsmanship, Philosophy, Technology, Wab-sabi, Zen							
9. ご自由に意見をお聞かせ下さい。 自らが日本人であることを改めて自覚した。 楽器の説明があり良かった／説明が長すぎる 外国の方をエスコートしてきたが、とても喜んでもらった。 Excellent performance. Silence manifested in sound, dance, chanting. Nice expression of deep essence and high quality of spirit. Nice presentation and explanation. Descriptions were informative / Too much explanations Little too slow for kids. / I would not allow children.							

年齢: 10歳代(14人)／20-30歳代(74人)／40-50歳代(94人)／60歳代(28人)／未回答(6人)

■ローマ

総回答者数 88名 下記()は人数

1. イベントを知ったきっかけ:

会館 HP(23) 会館ブローシャー(4) 新聞・雑誌(2) フライヤー(2)
SNS(9) 会館ニュースレター(24) 庭園見学時の宣伝(3)
知人から聞いて(22) その他(3)

2. 来場した動機:

雅楽に関心があつて(56) 武道に関心があつて(35)
プログラム構成が良いと思った(34) その他(13)

3. イベントの感想:

大変満足(56) 満足(24) やや不満(1) 不満(0)

4. 日本文化をよりよく知るために役立ちましたか:

とても役にたった(56) 役に立った(20) あまり役に立たなかった(2)
全く役にたたなかった(0)

5. これまでに日本に関するイベントに参加しましたか:

はい(68) → 内訳 1回(7) / 2-5回(21) / 6-10回(9) / 10回以上(20)
いいえ(16)

6. 今後日本に関するイベントに参加したいですか:

はい(76) いいえ(0)

7. コメント:

素晴らしかった/最高でした/非常に興味深かった/会場に対して観客が多すぎる等

性別: 男性(33)/女性(48)

職業: 教師/学生/主婦など

年齢: 18歳以下(5)/18-24歳(4)/25-34歳(16)/35-44歳(10)/45-54歳(11)/
55-64歳(20)/65歳以上(19)

Ⅲ. 会計報告

以下のとおり収支概要を報告致します。

総事業費： 22,953,217 円

【内訳】

[収入]

1. 助成金	11,944,011
2. 協賛金	9,600,000
3. その他	115,428
4. 自己資金	1,293,778

[支出]

1. 楽器搬送費	6,073,425
2. 航空賃	5,390,160
3. 宿泊費・滞在費	4,059,180
4. 会場費	2,225,006
5. バス借上等交通費	2,430,640
6. レセプション開催費	836,801
7. 備品レンタル等	411,802
8. 印刷・翻訳費等	636,168
9. 司会謝儀等	233,852
10. 郵便・通信費	104,954
11. その他雑費	551,229

合計 22,953,217 円

合計 22,953,217 円

なお、昨年4月に延期した際に生じたキャンセル料(航空賃、一部宿泊代、印刷経費、郵送料等)は、合計約400万円となり、明治神宮より支出致しました。

ありがとうございました